

こまち荘防災訓練実施

3月9日、特別養護老人ホームこまち荘において防災訓練が実施されました。

この訓練は、平成18年1月8日長崎県大村市の認知症高齢者グループホーム「やすらぎの里さくら館」で死者7名、負傷



者2名の犠牲者が発生した火災を教訓に実施されたものです。

「夜間、福島県沖地震が発生し、こまち荘厨房から出火、延焼拡大を防止するとともに入所者避難誘導が急がれている状況を想定し、施設職員による災害



自衛隊入隊者を激励

小野町から9名が自衛隊入隊

3月8日、自衛隊父兄会県中地区連絡協議会主催による入隊者激励会が郡山市労働福祉会館において開催されました。

本年度は、小野町から9名が入隊する予定であり、当町父兄会の柏原康男会長から激励の言葉と記念品が贈呈がありました。

入隊されるみなさんの活躍をご期待します。

▼入隊者（敬称略）

荒井 優平（小野新町）
川口 和也（谷津作）
神成翔太郎（小野新町）
郡司 光（小野山神）
白石 広樹（谷津作）
鈴木 美善（小野赤沼）
須永 遼（小野山神）
長谷川裕大（浮金）
宗像 拓馬（小野新町）



対応・消防署と消防団連携による救出救助並びに中継放水・本町行政区住民と小野高校生による入所者避難誘導・公立小野町地方総合病院医師並びに看護師による応急救護など関係機関と住民が一体となった訓練となり参加者は本番さながらに真剣に取り組んでいました。

コミュニティ助成事業

自主防災救急器具と屋外トイレを整備

町では、コミュニティ事業を活用して各種事業の展開を進めています。

「コミュニティ助成事業とは、（財）自治総合センターが宝くじの収益金を財源とし、地域環境の整備・健康増進・防災・体育レクリエーションなど、地域のコミュニティを醸成するための事業です。

このたび、このコミュニティ助成事業を活用して、救急器具と屋外トイレの整備を行いました。

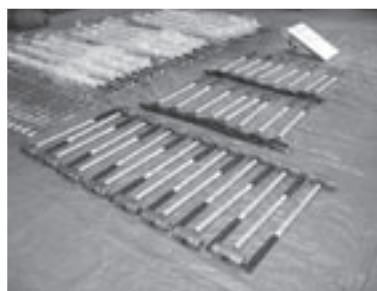
救急器具の整備は、地域住民の生活の安全を確保し、火災や大雨などの災害に対処するため、年次計画により各行政区の自主防災組織に配備しているもので、本年度は4行政区（横町・菖蒲谷・飯豊中・吉野辺）に救急器具を配備しました。

また、町の観光資源である「夏井千本桜」、「諏訪神社の翁媪杉」のある夏井駅付近に、生活環境の保全と美観の維持を図りながら、地域住民の共同作業を支えるために屋外から利用できる屋外トイレを設置したものです。

今後とも、安全で安心して暮らせる町づくりの推進のために町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



屋外トイレ



自主防災器具